

平成29年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493800138	事業の開始年月日	平成21年10月1日
		指定年月日	平成21年10月1日
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター 横浜南山田		
所在地	(〒224-0026 ) 横浜市都筑区南山田町3969		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成30年2月1日	評価結果 市町村受理日	平成30年5月10日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>認知症対応型として地域に根ざし、全職員が認知症のプロとしての誇りを持ち自分たちが持っている知識や知恵を活かし、地域貢献を目指している。 超高齢化社会に対応し、地域になくてはならない存在感のある事業所として、学習を怠ることなく、常に向上心のみがいている。</p> <p>職員はご利用者本位、ご利用者の心に寄り添ったケアを心がけ、安心安全な生活が送れるような業務に徹している。また、日々の暮らしの中で出来ることを積極的に行って頂き、なくてはならない存在と自覚していただけるよう支援している。</p> <p>ご家族、医療関係者と常に連携をとり、ご利用者にとって心身共に健全な環境作りを心がけている。</p>
---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	平成30年3月7日	評価機関 評価決定日	平成30年5月1日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p><b>【事業所の概要】</b> この事業所は、横浜市営地下鉄グリーンライン東山田駅から徒歩約5分の幹線道路の交差点近くに立地している。近くには配送センターや中小事業所、畑などが点在しており、幹線道路沿いとしては閑静な環境である。建物は鉄骨造り2階建てで、室内はバリアフリー設計で明るい。医療連携体制加算対象事業所として安全・安心に配慮している。</p> <p><b>【全職員で作成する介護計画】</b> 職員は、利用者の「短期目標の達成状況」「気づき」「全体で話し合うこと」などをその都度フロアリーダーに報告している。計画作成担当が全職員の意見を利用者ごとにまとめ、カンファレンスで話し合っている。利用者にとってよりよく暮らせるように、家族や医師の意見を取り入れて介護計画を関係者全員で作成している。職員全員が介護計画作成に携わることにより、利用者の目標やサービス内容についての理解が深まり、統一したサービスの提供ができています。</p> <p><b>【職員研修の充実による人材育成】</b> 入社時研修、フォローアップ研修などの研修年間計画に基づいて職員研修を実施している。 管理者は今後認知症により介護の必要な方が増加する傾向にあることを受けて、新入職員に対して、認知症介護のプロとしての心構えと社会のために良い職業を選択したと話を話し、誇りをもって仕事にあたるように指導している。認知症介護のプロの自覚が持てるように、毎月認知症の知識や介護技術について、計画作成担当者による研修を実施している。外部研修にもできる限り参加できるように努めている。介護福祉士などの有資格者の職員が半数以上おり、細かな支援を実践している。</p> <p><b>【地域との連携強化】</b> 南山田町内会に加入しており、正月には獅子舞が立ち寄ってくれる。横浜市の無形文化財である「虫送り」の行事には利用者全員で参加している。近隣中学校の就労体験を受け入れて交流を図っている。事業所主催の「南山田祭」では町内会婦人部が盆踊りを披露し、近隣住民の多くの方が参加している。さらに事業所の避難訓練に地元の消防団が参加するなど地域に根ざした活動をしている。</p> <p><b>【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目の領域</th> <th>自己評価項目</th> <th>外部評価項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I 理念に基づく運営</td> <td>1 ~ 14</td> <td>1 ~ 7</td> </tr> <tr> <td>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</td> <td>15 ~ 22</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</td> <td>23 ~ 35</td> <td>9 ~ 13</td> </tr> <tr> <td>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</td> <td>36 ~ 55</td> <td>14 ~ 20</td> </tr> <tr> <td>V アウトカム項目</td> <td>56 ~ 68</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目	I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7	II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8	III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13	IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20	V アウトカム項目	56 ~ 68	
評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目																
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7																
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8																
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13																
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20																
V アウトカム項目	56 ~ 68																	

事業所名	ニチイケアセンター横浜南山田
ユニット名	ふるさと

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

事業所名	ニチイケアセンター横浜南山田
ユニット名	きらめき

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各フロアで理念を作成し実践している。 自社の社是を朝礼で唱和し共有している。	「誠意・誇り・情熱」という法人の社是に基づき、事業所は各ユニットごとの理念「その人らしさを大切に」「笑顔と安らぎと温かさを」を作成した。各フロアに理念を掲示して全職員が確認し、実践している。社是については朝礼で唱和して職員間で共有している。管理者は新入職員に対して認知症介護のプロとしての心構えを話し、良い職業を選択した誇りと自信を持つように指導している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年7月に行われる地域の無形文化財「虫送り」に全員で参加している。11月に近隣中学校が就労体験として当ホームで実習、介護を体験した。	南山田町内会に加入している。散歩時には近隣の方と挨拶を交わしている。正月には獅子舞が立ち寄る。横浜市の無形文化財である「虫送り」には利用者全員が参加している。中学生の就労体験を二日間受け入れて交流を図っている。理美容のボランティアやマッサージ師による介護予防体操などの来訪があり、近隣のグループホームとの交流もある。月2回パンの移動販売があり、購入する利用者もいる。	地域とは緊密に連携をとっています。ボランティアの活動についてさらなる拡大を望みます。運営推進会議を通し、町内会会長や民生委員、地域包括支援センターなどにボランティア紹介を働きかけたり、近隣の事業所と連携することなど、積極的に取り組むことを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町会、ケアプラザより地域に認知症家族散歩の都度対応などの相談依頼があり都度、応じている。また、ケアプラザ主催の介護予防活動班のメンバーとして参加している。		

4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み          運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月ごとに運営推進会議を開催し事業内容、地域交流など報告し、要望やご意見は謙虚に受け止め施設内会議で話し合い検討し実施している。</p>	<p>2ヶ月ごとに運営推進会議を開催している。参加者は町内会会長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族、事業所職員などである。事業所の活動報告のほか、フリートーキングでは全員が活発に意見交換している。家族から生物を飼えないかとの要望があり、民生委員の方からメダカが提供された。利用者は散歩の都度、玄関に置かれた水槽を眺めて楽しんでいる。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携          市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>ケアプラザ、グループホーム連絡協議会等の会合に積極的に参加し、市町村担当者に様々アドバイスを頂いている。</p>	<p>都筑区高齢・障害支援課が窓口で、要介護更新申請代行や事故報告、親族間トラブルの相談などをして、密接に連携をとっている。県の認知症介護実践者研修や横浜市の指導講習会などに参加している。区のグループホーム連絡協議会では行政や他の事業者と情報交換している。毎月行われる地域ケアプラザ主催の地域ケア会議に出席し、認知症予防プロジェクトに参加している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「高齢者虐待防止の手引き」を基に身体拘束についての研修会を定期的実施し、身体拘束をしないケアを徹底している。研修後は感想・意見を提出している。	身体拘束をしないことを運営規程に明記している。年2回「高齢者虐待防止の手引き」に基づき事業所で研修を実施し、法人の試験を受けて、確認している。各フロアは安全のため家族の同意を得てテンキーで施錠しているが玄関は開放している。外出したい素振りが見えた時には職員が付き添うなど個別に対応している。言葉による拘束については研修を実施し、その都度管理者が声掛けや話し合いを行っている。薬を多く飲む方は入居時に往診医に相談し、常に看護師、医師と連携しながら様子を観察している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	カンファレンス、会議等で高齢者虐待について学習会を実施し徹底した虐待防止に努めている。家族会でも学習内容を報告している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者、ケアマネジャーは権利擁護が必要とされるご利用者の関係者と話し合い支援している。職員は介護福祉士試験の勉強などで個々に学習している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約の際、重要事項説明書、契約書等十分な時間をかけ説明し合議と納得をしていただいて、契約または解約の手続きをしている。		

10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映          利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議、家族会を2ヶ月に1度必ず開催し、意見や要望を頂き会議等で話し合い反映させている。          ご利用者には個々に対話し要望等を伺い取り入れるようにしている。</p>	<p>運営推進会議や来訪時に家族から意見や要望を聞いている。法人が顧客満足度調査を実施しており、事業所にフィードバックしている。個別の支援についての要望が多く、その都度対応している。運営推進会議と同日に家族会を開催しており、5～7家族が参加し、活発に意見交換している。個々の家族の支援に関する体験談を話し合い、情報交換して家族間の連携を深めている。来訪の少ない家族には毎月「近況のご報告」を作成し、利用者の様子を知らせたり、電話連絡をしている。</p>	
----	---	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行うホーム会議、カンファレンス等で、職員からの意見を聞き、その場で話しにくい内容であれば別機会に直接聞き取る。またはリーダーを通して話してもらい反映している。議事録を回覧し内容の共有をしている。	毎月のホーム会議やフロア会議で職員の意見や要望を把握している。日々の申し送りノートや業務管理日誌などに記入された内容からも収集している。日々の業務の中で直接管理者に意見を言う職員もいる。職員からの提案については、まず職員同士で話し合い、お互いに納得してから実行に移すようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の職員の声に耳を傾け、各々の能力、性質に合わせた声かけ、激励を心がけている。またキャリアアップ制度での評価で給与引き上げややりがいをもって働けるよう取り組んでいる。風通しの良い、働きやすい環境作りに努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内では入社時研修、社内フォローアップ研修があるが、施設内では職員研修年間計画に沿った研修をおこなっている。外部研修については全職員に周知し参加できるよう推進している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市グループホーム連絡会の講習会、ケアプラザの講習会に参加。地域他グループホームとは交換就労研修に参加し質の向上に役立てている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメント後、カンファレンスでご本人の経歴、既往歴や家族構成等を伝え、今後ご本人にとって安心安全な生活が送れるようケアプランを作成し実行に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居希望時や契約時に、ご家族として悩んでいること、困っていることに傾聴しアドバイスさせて頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントでのご本人の状況、ご家族からの情報を丁寧に聞き取り、サービス開始前にご本人にとって何が必要かを話し合いサービス提供をおこなっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で、ご利用者が出来ることと出来ないことを見極め、出来ることは積極的に行って頂けるよう働きかけている。日々の暮らしの中で行ってきたことは実践して頂いている。		

19	<p>○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族会や来所時に、ご利用者の様子をお知らせしている。また、日常生活状況を月に1度、全ご家庭にお手紙として送付している。</p>		
----	--	--	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所の際、ご本人の生活上で大切にしてきた物、生活暦、家族構成を聞き取り会話の中にとりいれている。また、ご友人やご親戚の来所時ご家族に繋げ、ご本人が受け入れやすくなるようにしている。	利用者は近隣の方が多く、友人や知人の来訪があり、以前から親交のある登山仲間やパソコン仲間が訪ねてくることがある。居室に案内して湯茶でもてなしている。家族対応で墓参りや買い物に行く方がいる。家族の依頼もあり、晩酌を楽しむ、和歌を詠む、パソコンでインターネットを楽しんだり、友人とメールのやり取りをするなど、昔の習慣を継続できるよう支援している。利用者と一緒に便せんを買いに行ったり、手紙の投函を手伝うなどの支援をしている。電話の取次ぎもしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常はなるべくリビングで過ごして頂けるよう声かけし、一人ひとりの状況に合わせた関わり合いをおこなっている。行事の時だけではなく日常的に1階、2階の交流をおこなっている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じ、ご連絡をとっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で、ご利用者がやりたい事等、思いを傾聴しご利用者本位のケアができるようカンファレンスで情報を共有し検討している。	日々の支援の中で職員は利用者の思いや意向を把握するよう努めている。言葉が出にくい方は表情や態度から把握するようにしている。家族から情報を収集することもある。入浴時や散歩など1対1の時間を大切にして意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際のアセスメントやご家族からの情報をまとめ、情報共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録に一日の状況、健康状態、食事量、排泄等詳しく記録している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	全職員は利用者に対する気づきを介護記録、連絡ノートに記入、必要な際はご家族や関係者にも連絡しご利用者にとってより良く暮らせるよう意見を聞き、介護計画を作成している。	フロアリーダーは職員から常に利用者について「短期目標の達成状況」「気づき」「全体で話し合うこと」などを聞き取り、集約している。毎月のカンファレンスで話し合い、家族、医師、看護師の意見を取り入れて、介護計画を作成している。介護計画は原則6ヶ月ごと、変化があった時にはその都度見直している。新規入居者の方は短期目標1ヶ月、長期目標を3ヶ月と設定している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、管理日誌、往診記録等に記入し情報共有し、申し送り事項は申し送りノートに記入している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族と電話や手紙で、または来所時に相談させて頂き、ご本人には会話の中で要望を聞き、その時々生活状況に応じたサービスをおこなっている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、町会役員の協力を頂きながら地域内の行事に参加できるよう、また地域と関わりが持てる場所をご提供し地域住民と交流を図っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居契約時、協力医療連携の説明をし、全員月2回の往診を受けている。歯科往診、月2回。訪問看護毎週1回。	月2回、利用者全員が協力医である内科医を受診している。月2回、歯科医の往診もある。毎週、訪問看護師が訪れて健康管理している。24時間オンコール体制がある。協力医から受診についての指示があった場合には職員が同行して通院している。その他の専門医への通院は家族が同行している。受診内容は「受診記録」に記入し、職員間で共有している。訪問マッサージを受けている方もいる。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご利用者の心身の状況は往診記録に記入し、訪問看護師に伝えて個々の状況を把握し、看護を受けていただいている。		

32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>体調変化には細心の注意を払い、少しの変化でもかかりつけ医に繋ぎ、入院に至らないように病院と情報交換をしている。定期的にかかりつけ医療機関と情報交換を行っている。</p>		
----	--	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時、「重度化した場合における対応に係る指針」を説明し相互で取り交わしている。かかりつけ医とご家族が、今後の方向性を話し合う機会を早い段階でもうけている。	入居時に、利用者、家族に「重度化した場合における対応に係る指針」を説明し、同意を得ている。職員の研修については、管理者、計画作成担当者を中心にして、ホーム会議やフロア会議で実施している。状況の変化に応じて家族、医師、看護師、職員で話し合い、利用者にとって最善の対応を検討している。本年度は3名を看取った。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご利用者容態急変時の基本連絡ルート、マニュアルを作成し、会議等で徹底、訓練している。消防署の意見交換会に参加し、救急要請時の対応についての講習を受け、スムーズに対応できるよう訓練している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ご家族、町会関係者も参加し年2回の非難訓練の実施。夜間火災消防訓練・地震防災訓練を実施。その他「非常災害予防・対応マニュアル」を活用し会議等で研修会をおこなっている。	年2回避難訓練を実施している。うち1回は消防署の立ち合いのもと夜間を想定した訓練、もう1回は地震と河川の氾濫を想定した訓練を行った。地域の方が5～10名参加しており、地域との連携体制ができている。地域の方には1階利用者の避難対応と見守りをお願いしている。緊急連絡網が整備されており、近隣職員が駆けつける体制になっている。飲料水や食料などは、職員分も含め3日分を備蓄している。備蓄リストも整備されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員が自社の個人情報に関する試験を年2回受けている。 当施設では、ご利用者には敬語を使うことを徹底し、ご利用者の人格を尊重する言葉で対応している。	新入職員に対して、法人が言葉遣いや接遇について研修し、その後年2回個人情報に関して試験を実施している。事業所としても毎月のフロア会議で研修を実施している。更衣室のホワイトボードに管理者が気づいたことを記入して、職員間で確認している。トイレ誘導時の言葉かけについては特に注意し、さりげなく誘導している。トイレの隣に浴室があり、失禁時などの対応がしやすい。個人情報を含む書類は鍵のかかる書庫に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活の中で、ご本人の好みや意向を聞き、なるべく希望通りに生活が送れるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	ご利用者のペースに合わせた生活が送れるよう、またそれが実行できているかカンファレンス等で確認している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している 溶離 r	ご本人の希望に沿った身だしなみができるよう、自己決定していただいている。		

40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援          食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>下ごしらえ、取り分け、後片付けなど出来ることは積極的に行って頂いている。また、器や食材の彩りにも気を配り、食事が楽しくなるよう工夫している。誕生会や行事ではご利用者の希望する食事の出前をとることもある。</p>	<p>献立作成と食材の調達は配食業者が行っている。調理は、毎食職員が実施し、利用者が玉ねぎなどの皮むきやもやしのひげ取り、盛り付けや下膳、食器拭きなどしている。体調に応じてきざみ食やとろみ食にも応じている。利用者が希望する寿司や弁当の出前を取ることもある。お誕生日会には好みを聞いて出前を取ったり、ケーキ提供して、祝っている。特別食として正月にはおせち料理の提供がある。</p>	
----	----	---	--	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	担当医や看護師のアドバイスをもとに、食事量や水分量を介護記録に記入し、ご本人の状態に応じたケアをしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は必ず口腔ケアを行っている。ご自分で出来ないご利用者には、職員が介助し清潔保持をしている。誤嚥性肺炎の予防にもなるため、月に2回歯科往診を実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自立でないご利用者には個々の習慣に合わせた時間に排泄を促し誘導。自立排泄を支援している。使用後は職員全員が持参している携帯用消毒スプレーで感染対策をしている。	自立者が8名で、布パンツを使用し、その他の方はリハビリパンツとパットを使用している。排せつチェック表に基づき排せつパターンを把握して、トイレ誘導し、自立を促している。夜間は、自立の方はトイレ利用、あらかじめ約束した方には、声掛けしてトイレ誘導している。睡眠時間の確保が必要な方はパット交換にするなど個別に対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	当施設提携のマッサージ師の指導の元、健康体操を食事前、15時に行う事を日課としている。便秘予防のためおやつに乳製品をお出ししている。便秘時には医師や看護師にアドバイスを受けている。		

45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>その日の体調、ご本人の希望に合わせて入浴していただいている。決して無理強いせず、足浴を楽しんで頂く日もある。</p>	<p>毎週3回、午後のおやつが終わってから夕食前までの時間帯に入浴している。毎日入浴したいという要望があれば、できる限り対応している。同性介助にも対応している。入浴を好まない方には、時間や職員を替えるなど工夫しているが現在はいない。浴室には温風暖房、脱衣所には床暖房などを完備してヒートショック対策をしている。ゆず湯や菖蒲湯などを楽しむこともある。</p>	
----	----	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の意思にお任せし個々に休息していただいている。特に昼食後は居室で休まれる方が多い。リビングで過ごす事を希望される方もいらっしゃる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診後、薬剤師の服薬指導を受けている。処方箋が変更する場合は、往診記録に処方箋の内容を記入。全員で共有、確認し服薬事故の無いよう気をつけている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お掃除、洗濯などの家事、炊事をして頂く事により、無くてはならない存在と自覚して頂いている。家事が難しい方には、施設内の飾りつけなどお願いし作品を張り出している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員とともにスーパーに買い物に出かけたり、車でホームセンターに行き、店内散策を楽しむ時もある。回覧板やお知らせ等は、ご利用者とお届けし地域住民と交流を持つようにしている。	外出に積極的な利用者が多く、少しの介助で歩ける方のグループ、車椅子の方のグループ、長時間歩ける方のグループ、3班に分けて毎日散歩に出ている。近くの公園や公民館に花見に行く、地域のお祭りに参加する、近くのコンビニエンスストアや書店に出掛けるなど、外出を支援している。庭に出て日光浴や外気浴を楽しむ方もいる。車でホームセンターに小動物を見に行くこともある。	

50	<p>○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣いは、お預かりしているが、ご本人が希望する物があれば、一緒に買い物に出かける。コンビニや本屋などでご本人の希望の物を選んでいただいている。</p>		
----	---	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望でご家族やご友人に電話をかけていただいている。ご友人と文通をしている方もいる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間の清潔の保持（手すりなどの消毒）や空調の温度差の変化が無いように努めている。 室内は季節にあった装飾をご利用者と作成したり、華やかさの中に落ち着きがある色彩になるよう工夫している。	リビングは日当たりが良く明るく清潔感がある。ソファや小上がりの畳の部屋があり、利用者はのんびりくつろいでいる。厨房からリビング全体が見渡せる造りで、職員は常に利用者の様子を見守っている。壁には利用者の手作りの作品や行事の写真などが飾られている。毎朝窓を開け換気には十分注意し、空気清浄機が設置されている。夜勤の職員が共有部分の清掃を行っているが、モップをもって廊下の清掃することを日課としている利用者もいる。トイレは各フロアに3ヶ所あり、うち2ヶ所は車椅子対応で、もう1ヶ所はトイレから浴室へ直接行けるようになっている。廊下は広く車椅子が交差できる造りになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室で過ごされたい方は、居室でくつろいでいただいている。 リビングには応接用の椅子があり、ご利用者がおしゃべりしたりリラックスできる空間をご提供している。		

54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室内はご家族とご本人が話し合い、日常生活で使い慣れたものや必要とするもの馴染みの物をお持ちいただいている。</p>	<p>居室はエアコン、クローゼット、照明、カーテンが備え付けられており、利用者はテレビやパソコン、ベッド、整理ダンス、位牌、家族の写真など、馴染みのものを持ち込んでいる。利用者が落ち着いて、安定した生活を送ることができよう、家族と連携して入居前と全く同じ配置にした部屋もある。季節の衣類の入れ替えは家族や職員が対応している。各居室の入り口には氏名が大きく表示された手作りの表札が掛けてあり、分かりやすい。利用者も積極的に掃除に参加しており、自分の部屋の床掃除をモップで行う方もいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内の随所に手すりがあり転倒防止しながら自力歩行できるよう工夫している。トイレや浴室、居室が一目で分かるよう名前やマークなどを貼り、工夫している。</p>		

# 目 標 達 成 計 画

事業所名 ニキヤアセンタ-横浜南山田

作成日  H30.5.8

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい、町会、包括などは、御座り更にボランティア紹介など積極的に取り組むには？	地域や行政と更に密に連絡を取り積極的に外部とつなぐ機会を今以上に作る。	行政の運営推進会議への参加の促し、傾聴ボランティア等の活用	H30.7
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。  
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。